

ルールその他について

■使用クラブについて(全試合SLEルール適用！)

SLEルール適合クラブヘッド(COR0.830以内)を使用すること。

自身でR&A/USGA発行の「適合ヘッドリスト」を確認し、申込み時には正確な申請をすること。

(エントリー時、必須記入)。変更する場合は、当日受付時に申し出ること。

※適用の例外的な処置: 適合申請中ヘッドは例外として使用を許可する。

ただし、日本決勝時点で適合ヘッドリストに掲載されない場合は、それまでに獲得した権利と記録は抹消し、権利は次点者へ移行される。

※長さ: 60°C計測法により最大48インチ(1.219メートル)とする。 ※2017変更

※その他のルールはLDAルールを適用(特別な場合を除く)

※優勝者決定後、クラブに反発係数を上げるための改造が施されていないか、確認作業を行うことがある。

■競技球について・競技者は主催者が配布した公式ボールを使用しなければならない。

■ティーについて・長さは、4インチ(101.6ミリメートル)以下でなくてはならない。

※手作りのティーは、使用不可とし、ティーに紐やゴムなどの装着は不可とする。

■集合について・グループごとの集合時間に遅刻する場合は失格とすることがある。

※事前の事務局への連絡を前提とする。

※無断欠場においては、次節以降の参加を取り消す場合がある。

■競技時間と球数について・原則として競技は3名で2分30秒 6球同時打ちとする。

※会場により、打席数・時間・球数を変更する場合がある。

■競技の開始と終了について・競技の開始(タイマースタート)は規定数のボールを見える状態で地面に置き、3名(1名・2名)の選手がティアップを済ませ、それぞれ選手紹介終了した時点からとする。終了は規定数の持ち球の消化もしくは規定時間の終了の何れか早い方とする。

■測定基準について・測定する基準の場所は、ティインググラウンドの打席中心部(セパレーターの中心)

からグリッド内の静止したボール位置まで。レーザー飛距離測定器によって測定された距離を認定距離とする。

測定範囲は左右幅40Y(狭まる場合あり)／縦幅270Y以上を基準とする。オープンディビジョンは270Y以上、シニア250Y以上、マスターズ230Y以上、レディス170Y以上(測定対象とする(境界線上のボールも含む)。悪天候等の場合は基準を引き下げる場合がある。

※測定グリッドの外より何かに当たってグリッド内に止まった球、または測定外の地面に着弾後、グリッドに入った球はファールとする。

※規定時間内に持ち球を打ち終えなかった(インパクトが出来なかった)球は測定外とする。

(それまでに打ち終わったグリッド内の最長飛距離のボールを測定する)

※意図するスイング(空振り)は、1打とみなす。

■同記録の場合・代表決定時など同記録となった場合は、サンドデスでプレーオフを行う。

■ルール外の裁定・規定のルール外の問題が発生した場合は、主催者、または運営責任者の決定を最終決定とする。(ブロック予選 毎のローカルルールを含む)

■嫌悪な気象条件の場合の対処法・競技の途中で降雨が激しくなった場合や、雷が接近している場合は競技を中断する。中断が長時間に及んだ場合は、グループ内の途中抹消し、初めからやり直す場合がある。競技が再開できる見通しがたない場合、①各グループ単位で消化していれば、その時点で一番飛んだ記録をもつ選手を優勝とする。

②消化していなければ延期又は中止扱いとする。

(最終判断は各会場責任者が行い最終決定とする。)

↑が

のグリッドを

記録を

、